

第一回国債市場特別参加者会合における谷垣財務大臣冒頭挨拶

さきの内閣改造において、再度、財務大臣を拝命いたしました谷垣でございます。第一回国債市場特別参加者会合の開催にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

現在、我が国の経済は回復基調にあります。我が国に目を転じますと、公債依存度が四十四・六%にも及び、巨額の国債発行を続けている状態にあり、十六年度末の公債残高は四八三兆円に達する見込みです。このような財政状況が続きますと、財政の持続可能性が危ぶまれるだけでなく、経済成長の大きな阻害要因となりかねません。したがって、財政健全化の取組を一層強化し、民需主導の持続的な経済成長につなげていくことが重要であると考えております。こうした観点も踏まえ、今後の我が国の財政運営につきましては、二〇一〇年代初頭の基礎的財政収支の黒字化を目指し、歳出・歳入両面からバランスのとれた財政構造改革を実現していく必要があります。

特に十七年度予算編成にあたっては、財政規律堅持の姿勢を明確にするためにも、新規国債発行額について昨年度よりも減額することを確固たる目標として掲げ、国債増発を余儀なくされてきた過去三年間の流れを変える契機にしたいと考えております。この目標につきましては、昨日小泉総理大臣からも御賛同を得、その方針で進めるよう御指示をいただいたところです。

また、国債の発行については、中長期的なコストを抑制しつつ、確実かつ円滑

な消化を図るという国債管理政策の役割がいよいよ重要になってきており、財務大臣に再任されるにあたり、小泉総理大臣から改めて国債管理政策への取組を御指示いただいたところであります。昨年十二月にとりまとめた「国債管理政策の新たな展開」に沿って国債管理政策の各種施策を着実に実施してまいりましたが、今後とも国債の商品性の多様化を通じ国債の保有者層を拡大するなど、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

なかでも、国債市場特別参加者制度は、主要諸外国における「プライマリー・ディーラー制度」と同様、特別参加者の主体的な行動に支えられ、より一層市場原理に則した形で、国債全体の安定消化を図る新たな枠組みを構築するものであり、我が国国債市場の更なる発展に資する画期的なものと考えております。この意味で、今日一日、基準を満たす二十五社を特別参加者として指定し、このような形で本制度を立ち上げることができたことは、大変喜ばしいことと思います。本制度の円滑な運営を通じて、国債の安定消化の確保と国債市場の流動性の維持・向上が図られることを期待しております。

国債の大量発行が続く中、国債の安定消化を図っていくためには、財政構造改革の推進により国債に対する信認を確保するとともに、市場との対話を通じ、市場のニーズ・動向等を十分に踏まえた国債発行を行っていくことが必要となります。この意味で、本日、国債の発行・流通市場の主要な参加者に御越し頂き、福井日本銀行総裁にも御出席頂いて、このような形で直接意見交換を行うことは、非常に有意義なことと考えております。御出席の皆様方に対し、忌憚のない御意見、御提言をくださいますようお願いして、私の挨拶とさせていただきます。